

時間割番号	科目名[英文名]	単位数
	地域資源管理論 [Theory of Regional Resources Management]	1
担当教員(責任)[ローマ字表記]		
山田 容三 [YAMADA Yozo]		
担当教員[ローマ字表記]		
山田 容三 [YAMADA Yozo]、笠松 浩樹 [KASAMATSU Hiroki]		

#### 授業題目(必須入力)

地域資源管理論 [Theory of Regional Resources Management]	
---	--

#### 授業のキーワード(必須入力)

森林資源 [Forest Resource], 森林環境 [Forest Environment], 機能区分 [Zoning], 地域社会 [Regional Community], 新たな森林管理システム [Sustainable Forest Management], 農山村[Rural Area], 地域社会[Society], 過疎化[Depopulation]	
---	--

#### 授業の目的(必須入力)

地域における「森林と人間の共生」に関する理解を深め、持続可能な森林管理と生物多様性の保全を踏まえた森林計画と木材生産に関する基礎的な知識を習得することを目的とする。また、「新たな森林管理システム」を指導・監督するための基本的な考え方を身につけることを目的とする。これらを考えるうえでの前提として、農山村の地域社会に着目し、人口問題を切り口に日本や世界の状況を概観し、農山村の意義と役割を考える。	
---	--

#### 授業の到達目標(必須入力)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 森林資源の経済的な持続に関する課題を理解する</li> <li>2. 森林環境の健全性と多様性の維持に関するポイントを理解する。</li> <li>3. 森林の機能区分(ゾーニング)の手順を理解する。</li> <li>4. 学習した知識を総合して個別の地域資源管理の手法(新たな森林管理システムを含む)を検討する力を養う。</li> <li>5. 農山村社会の変遷と現状、問題を理解し、地域社会の意義とあり方をもとに将来を考える。</li> <li>6. ディスカッションとディベートを通してより深く考察する力を身につける。</li> </ol>	
--	--

#### ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標)／共通教育の理念・教育方針に関わる項目

<p>(知識・理解) 生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する高度な専門知識と技術を修得している。</p> <p>(思考・判断) 循環型社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、資源、環境に関連する諸課題の原因を論理的考察に基づいて説明し、有効な解決策を見出すことができる。</p>	
---	--

#### 授業概要(必須入力)

<p>地域資源としての森林を、木材を生産する場としての森林資源、森林の多面的機能の発揮を促進する場としての森林環境の視点から捉え、資源と経済的な持続、健全性と多様性の持続の課題とポイントについて概説し、「持続可能な森林管理」と「新たな森林管理システム」を総合的に実現するための森林計画とゾーニングについて演習する。また、森林からの産物やサービスを楽しむ地域社会と森林の関係を考察し、各自の地域におけるこれからの森林管理と地域振興に関する考察を行い、課題研究に向けたディスカッションを通して地域資源管理の理解を深める。これらを理解・考察するにあたり、森林・林業が所在する農山村の集落、過疎化、小規模多機能自治に着目し、地域社会や産業の横断的なあり方に基づき、将来を展望する。</p>	
--	--

#### 授業スケジュール(必須入力)

<p>第1講 農山村社会の現状と将来</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 過疎・高齢化と地域活動の基礎単位</li> <li>1-2 小規模多機能自治</li> <li>1-3 近代化と人口問題</li> <li>1-4 今後の社会のあり方を展望する</li> </ol> <p>第2講 森林管理の理念</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2-1 なにを大切にすべきか？(環境倫理)</li> <li>2-2 森林を健全に保つ(森林美学)</li> <li>2-3 ボトムアップの思考(空間の履歴)</li> </ol> <p>第3講 地域資源管理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1 森林計画とゾーニング</li> <li>3-2 目標林型と森林管理</li> <li>3-3 ディスカッション</li> </ol>	
--	--

**授業時間外学習にかかわる情報(必須入力)**

講義前に各自の地域の森林と林業について調べる。  
 各自の地域の市町村森林整備計画と森林施業計画図を講義に持参する。

**成績評価方法(必須入力)**

ゾーニング演習成果品(ディスカッションを含む): 80%  
 授業への取り組み: 20%

**受講条件(任意入力)****受講のルール(任意入力)**

質問をたくさんして、受講生同士の理解を深める努力をしてほしい。

**教科書(購入する必要のある図書)(必須入力)**

教科書1	書名	SDGs時代の森林管理の理念と技術: 森林と人間の共生の道へ			ISBN	978-4-8122-1921-8
	著者名	山田容三	出版社	昭和堂	出版年	2020年
教科書2	書名				ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

**参考書(購入する必要はないが、推奨する図書)(必須入力)**

参考書1	書名	森林利用学			ISBN	978-4-621-30500-3
	著者名	吉岡拓如ら	出版社	丸善出版	出版年	2020年
参考書2	書名				ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

**教科書・参考書に関する補足情報(必須入力)**

必要に応じてプリントを配布する。

**オフィスアワー(必須入力)**

基本的に、講義終了後2時間程度。しかし、連絡があればいつでも可。

**連絡先(必須入力)**

山田容三: yozoergo@gmail.com  
 笠松浩樹: kasamatsu.hiroki.mc@ehime-u.ac.jp

**参照ホームページ(任意入力)****その他(任意入力)**